

第29回定期大会発言に基づく申し入れ

第11項 東京総合病院の病棟建替え計画を明らかにするとともに病棟建替えにあたり、組合員の声に基づき適切な医療を提供できる環境を確立すること。

会社

- 築34年経過しており、老朽化が進み、設備的にも古く、バックヤードが狭いなどの問題があることから病棟建替を検討中。
- 場所は敷地内の立体駐車場、規模は容積率の問題から現状以上のものは作れない。
- 検討中のため説明できる状況でないが、具体的なものが決まり次第情報提供する。
- 職場の意見は、「病棟建替検討委員会」で病棟師長クラスの意見も含め、意見を吸い上げ反映していく。

職場の意見が反映されないのは、命を預かる現場として危機感を持つ！

良質な医療を提供していくために職場の意見を聞くことを確認！！



第12項 仙台病院の医師不足の原因と今後の展望について明らかにすること。

会社

- 東日本大震災以降、東北地方の医師を沿岸部へ派遣したことから医師確保が困難に。
- 医師が不足しており、常勤の医師を確保するため東北大学への要請を続ける。
- 仙台病院は職域病院として社員のための病院、地域から信頼される病院を目指す。

循環器科・泌尿器科・眼科・耳鼻科は病院経営の視点、医学適性検査の視点から常勤医師が必要であると強く要請！！

第13項 安全衛生委員会の委員の指定については、労働安全衛生法に基づき選出すること。また、労働安全衛生法と社内法規に相違がある場合は法に基づき改定すること。

会社

- 労働安全衛生法に基づき選出している。
- 各職場の内規については確認をする。労働安全衛生法にのっとるべきであり、違反があれば指導していく。
- 安全衛生委員会の開催率は約98%。現実的に産業医が全てに参加するのは難しい。実態の中で労使が話し合って開催している。

産業医の参加など支社の実態を本社が把握し、必要な措置があれば行うことを確認！！

第6項 駅の業務委託箇所における「駅遠隔操作システム」導入の趣旨と導入計画箇所を明らかにすること。

会社

- 委託駅にシステムが導入されても、ILダ-雇用の場の確保、ILダ-社員のノウハウの活用という当初の趣旨は変わるものではない。
- 他社において導入実績がある。導入を成功させ、首都圏を中心に拡大していきたい。
- 導入基準は対応が可能な駅に導入していく。今までのお客さま対応と変わらない。

今までと変わらないことを会社は強調。検証を行い、それを踏まえて体制を整えていくことを確認！！

安全で働きがいのある職場をつくるために、要求実現に向けて交渉を継続します！！